



令和元年度  
みやの環境創造提案・実践事業  
活動内容

## みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 平成30年度は、前年度から継続して活動を行った5団体と、新たに応募のあった3団体、計8団体に対して活動支援を行いました“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

→ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

## 《自然環境：自然ゆたかな街を目指して》

### 「土」から広がる生物多様性理解

宇都宮共和大学 自然遊びの会バーベナ

生態系の中で重要な役割を果たしている「土」に視点をあて、その機能や役割を体感できるプログラムを考案する。これらを実践し、生物多様性理解の普及につなげる。

#### 主な活動内容

- ① プログラム検証
- ② プログラム考案・改良
- ③ 行事開催
  - 自然遊びの会
  - 宇都宮市出前講座



環境出前講座の様子



パネルシアターの様子



土の中の生き物探しの様子

#### ◆活動の成果や感想

- ・ 「土に親しむ」プログラムを考案・実践を繰り返し、改良した。
- ・ 地域の親子を対象とした自然遊びの会を年間3回、他団体との連携については、宇都宮市環境出前講座を2回実施した。
- ・ 本提案は今年度で一区切りであるが、生物多様性をテーマにした活動は今後も続ける予定である。この2年間で得たプログラム等は、改良を加えつつ使用していく。



収穫の様子

## 《ごみ(廃棄物):ごみの少ないまちを目指して》

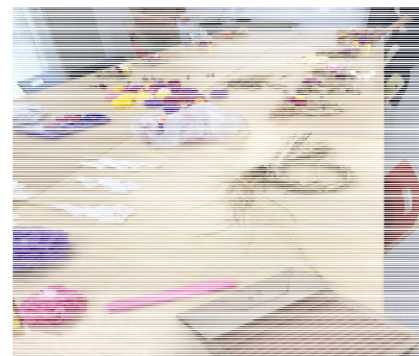
### しめ飾りプロジェクト

宇都宮大学 しめ飾りからサステナビリティを考える会

プラスチック類などを使わないしめ飾りを作成し、市民に配布することで、環境への配慮やごみの分別の大切さの啓発につなげる。

#### 主な活動内容

- ① しめ飾りの作成  
➢ 種まき, 田植え, 稲刈り 等
- ② 高校生とのワークショップ
- ③ ECOテック&ライフとちぎ



高校生とのワークショップの様子

#### ◆活動の成果や感想

- ・ 日常において当たり前になってしまったプラスチック問題に意識を持ってもらうのは難しいと感じた。
- ・ 栃木県の伝統工芸である烏山和紙を使用してしめ飾りを作れたことは、和紙の可能性を知ることができ、また「紙」という素材の素晴らしさを再発見できた。



稲の育つ様子



しめ飾り試作品



ECOテック&ライフとちぎでの様子

## 《自然環境：自然ゆたかな街を目指して》

### 宇都宮市の農作業事故0を目指せ！ ～水稲作圃場に潜む危険を明らかにしよう～

宇都宮大学 農村計画学研究室

田園環境の保全や持続的な農業活動を目指すため、農作業時における事故原因等を調査し、結果の周知を行う。

#### 主な活動内容

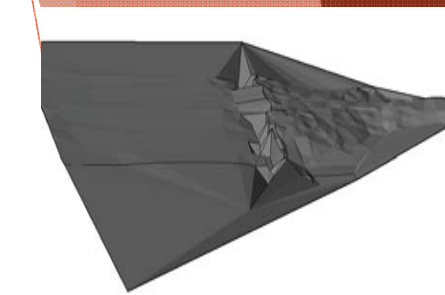
- ① 農家へのヒアリング
- ② ヒアリングをした作業場所の3Dモデルの製作



農家へのヒアリングの様子

#### ◆活動の成果や感想

- ・ 危険な農作業現場について明らかにすることができた。
- ・ SDGsの中の「小規模食料生産者の農業生産性と所得を倍増させる」や「持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する」といった目標に貢献できた。



3Dモデルの作成



測量の様子



測量の様子

## 《地球温暖化：地球にやさしいまちを目指して》

### 再生可能エネルギー利用の周知啓発活動

宇都宮工業高等学校 機械科

再生可能エネルギー利用を子供達にも理解しやすいようミニソーラーカーを製作し、環境イベント等で乗車会を実施し、環境活動への理解や意識向上に向けた啓発活動を実施する。

#### 主な活動内容

- ① ミニソーラーカーの製作
- ② 環境イベント等での乗車会



イベントでの乗車の様子

#### ◆活動の成果や感想

- ・ 子供達の興味を引くことで、家族でイベントに参加してもらい、パネル等で環境活動の重要性を伝えることができた。
- ・ 新しいミニソーラーカーを製作しながら、イベントには昨年までに製作していた車両を使って参加し、活動をPRした。完成したミニソーラーカーは今後の体験乗車会で使用していきたい。



ソーラーカー作製の様子



完成したミニソーラーカーのボディ



以前作成したミニ新幹線

## 《地球温暖化:地球にやさしいまちを目指して》

### 宮のSDGsMAP

宇都宮大学建築環境研究室

宇都宮市内の環境意識調査やSDGs特性の調査を行い、結果をポスター等でまとめ広報活動を実施する。

#### 主な活動内容

- ① SDGsに関わる取組の調査
- ② 地域住民の環境意識調査
- ③ 宮のSDGsMAPの製作



もったいないフェアでの活動の様子

#### ◆活動の成果や感想

- ・ SDGsにつながる施設や取り組みの可視化ができた。
- ・ どのような活動、施設がSDGsにつながるのか、地図上にプロットしていく上での基準をもっと明確にしていく必要があることが明らかになった。



調査の様子



SDGs 宇都宮



SDGsにつながる施設

## 《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

宇都宮市の戸祭山緑地に棲息するトウキョウサンショウウオを守るために

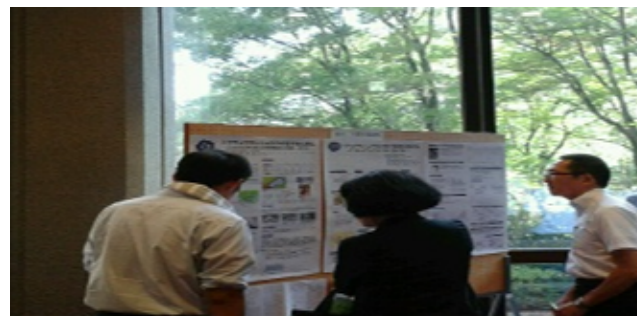
～アメリカザリガニの生態調査～

宇都宮北高等学校科学研究部

宇都宮市の戸祭山緑地で希少生物であるトウキョウサンショウウオの保全のため、アメリカザリガニの駆除を目的とした研究を実施する。

### 主な活動内容

- ① アメリカザリガニ駆除活動についての周知
- ② アメリカザリガニの駆除方法の探求を目的とした生態研究



第41回栃木県高等学校文化祭総合開会式  
(宇都宮市文化会館)での発表の様子

### ◆活動の成果や感想

- ・ 各種イベントで、活動内容についてパネルを用いて周知した。
- ・ ポスター掲示によって、外来種への対策のために、知恵を出すことや活動に自ら参加することの必要性が、ポスター掲示をしない場合よりも良く伝わったことが明らかになった。



現地調査の様子



日本微生物生態学会  
第33回大会(山梨大会)



アメリカザリガニの飼育の状況



## 《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

### 鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動

宇都宮白楊高等学校生物工学部

宇都宮市上小倉地区で激減した絶滅危惧種のカワラノギクを増殖させ、鬼怒川河川敷の生物多様性の保全活動を行う。

#### 主な活動内容

- ① 絶滅危惧種であるカワラノギクの組織培養や種子繁殖による増殖の実施
- ② 外来種が絶滅危惧種へ及ぼす影響や関係性の調査



6月1日



8月21日

カワラノギク成長の様子



カワラノギクの苗



定植の様子

#### ◆活動の成果や感想

- ・ カワラノギクを播種する際は、ばらまきではなく1カ所に複数の種子をまとめて播いた方が良かった。
- ・ 組織培養で増殖した苗を定植するよりも、播種した方が、効果的に保全することができる。



組織培養の様子

## 《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

### GAPを通じた環境に配慮した環境実践

宇都宮白楊高等学校農業経営科

環境に配慮した持続可能な農業を目指すため、GAP（生産工程管理）の意義を普及させ、地域の農業と環境の抱える問題の解決を図る。

#### 主な活動内容

- ① GAPについて調べ、農業が環境とどう向き合い行動するかを検討
- ② 土壌分析に基づいた施肥管理や農薬の適正



小学生とのGAP教育



土壌調査の様子



トマトの品質調査

#### ◆活動の成果や感想

- ・ GAPに対する考えかたや普及のための課題などの意見交換を行った。
- ・ 肥料に関する栽培試験により、品質の高いトマト栽培を目指すための課題を見つけることができた。
- ・ JGAP認証から学んださまざまな経験や考え方を持続可能な農業の取り組みに結び付けるため、施肥の試験内容などを行い幅広い世代の人たちと関わりを持ちながら発表することができた。



JGAPトマト



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境政策課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2418

FAX 028-632-3316